

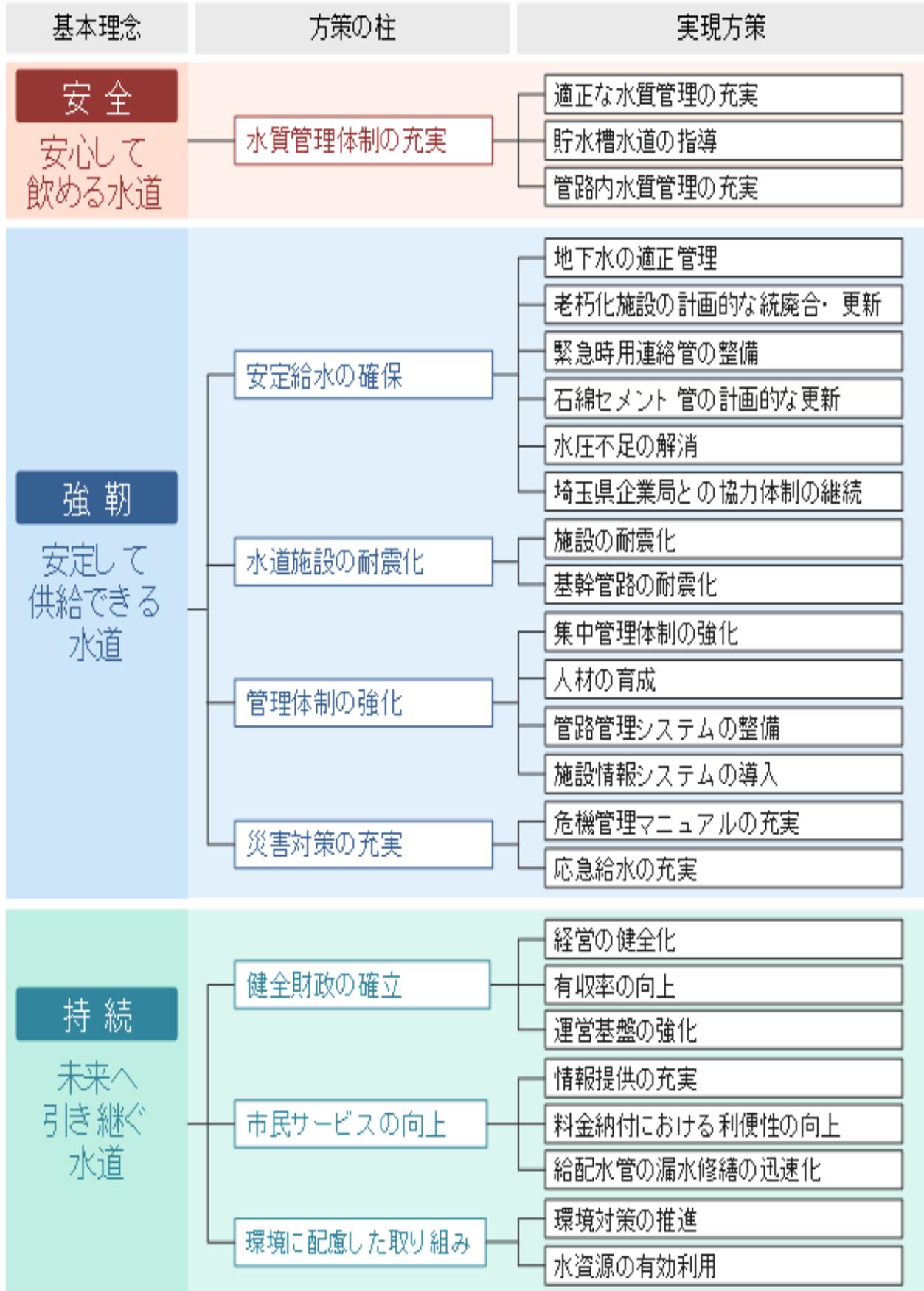
加須市水道ビジョン進捗状況



令和3年8月

加須市上下水道部水道課

将来像 「未来へつなぐ安心・安定・加須の水」



1 本書の位置付け

水道法の精神である「安全な水の安定的な供給」を実現するため、水質管理体制の強化・充実や、将来の水需要に対応した水道施設の計画的な統廃合及び施設更新に努めるとともに、災害に強い給水体制を図るため、水道施設の耐震化及び水道施設の集中管理など合理的な管理体制を整備する施策を推進することとする。この施策を実現し、かつ、水道事業の効率化と健全な財政運営を図るための指針として、平成 25 年 3 月に「加須市水道ビジョン」を策定した。

本書は、「加須市水道ビジョン」に掲げた各種の指標や目標値に対し、各事業年度の決算を踏まえた成果を可視化することにより、加須市水道ビジョンの適正な進捗管理に資することを目的とする。

なお、水道ビジョンの計画期間が平成 25 年度から令和 4 年度までの 10 年間であることから、水道ビジョンに位置づけられた実現方策について、令和 2 年度決算を踏まえ、実施状況を点検・評価することとする。

また、水道事業を取り巻く社会経済情勢は、節水社会の進展や人口減少による水需要の減少に伴い、水道ビジョン策定時と比較すると大きく変化してきている。

そこで、前期計画期間の 5 年が満了した平成 29 年度において、後期計画期間における継続的な事業運営が図れるよう、平成 30 年度以降の投資計画や財政計画を再検討し、将来にわたり安全・安心で良質な水を安定的に供給できるよう、水道ビジョンの見直しを行ったところである。

なお、評価基準は、次のとおりである。

評 価		達成度評価基準
1	目標を達成	当該年度に実施すべき取組みを予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の 100% 以上に達し、当該年度の目標を達成した。
2	概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の 80% 以上に達したものをいう。 ただし、「指標の性質上、最低限達成すべき目標値を達成していない」あるいは「当該実績値が、過去 2 年分の実績と比較し、平均的水準に満たない」など、指標の実績値が目標値の 80% 以上に達したとしても、「効果が概ね表れた」とは言い難い場合、下位の評価とすることを妨げるものではない。
3	やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みを行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の 80% 未満となったものをいう。
4	大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の 50% 未満となったものをいう。
5	未着手	何らかの理由により、事業の着手が出来なかった。

指標の設定がない場合においては、「2 概ね達成」以下の評価基準とする。

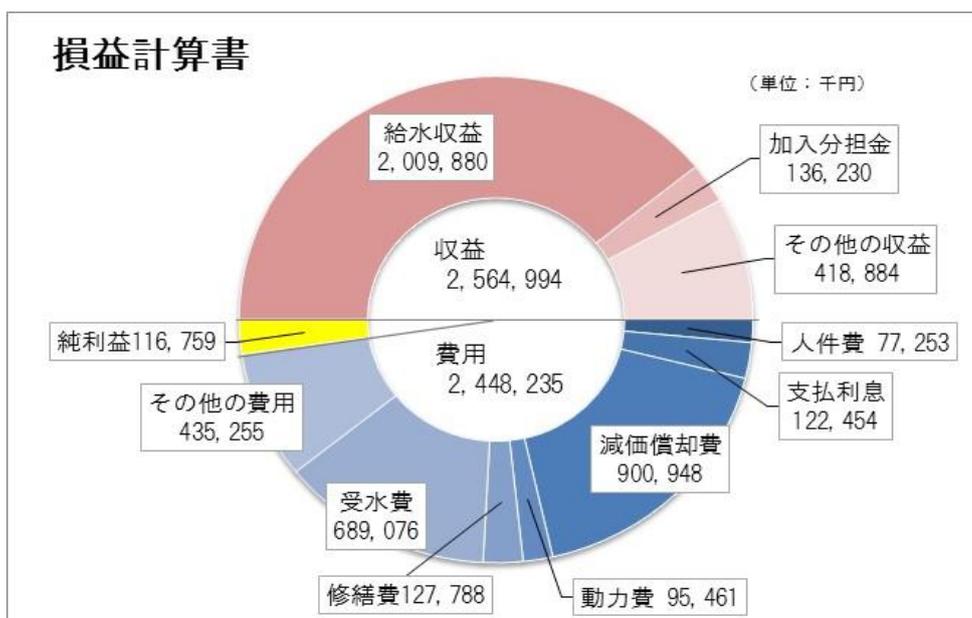
2	概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行えた。
3	やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みのうち、いくつか遅れが生じている。
4	大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっている。
5	未着手	何らかの理由により、事業の着手が出来なかった。

2 令和2年度決算概要

(1) 収益的収支

(消費税抜)

項目	令和2年度	令和元年度	比較	
			増減	割合
水道事業収益	2,564,994,360円	2,665,555,298円	△100,560,938円	96.2%
水道事業費用	2,448,235,254円	2,434,850,071円	13,385,183円	100.5%
差引(純利益)	116,759,106円	230,705,227円	△113,946,121円	50.6%



(2) 業務量

項目	令和2年度	令和元年度	比較		
			増減	比率	
A 年度末行政人口	112,570 人	112,897 人	△ 327 人	99.7 %	
B 年度末行政世帯	48,375 戸	47,749 戸	626 戸	101.3 %	
C 年度末給水人口	112,491 人	112,812 人	△ 321 人	99.7 %	
D 年度末給水世帯	48,343 戸	47,714 戸	629 戸	101.3 %	
E 普及率 (D/B)	99.93 %	99.92 %	0.01 %	100.0 %	
F 配水量	年間	15,817,481 m ³	15,529,789 m ³	287,692 m ³	101.9 %
	1日平均	43,336 m ³	42,431 m ³	905 m ³	102.1 %
G 有収水量 (注1)	年間	13,481,420 m ³	13,142,347 m ³	339,073 m ³	102.6 %
	1日平均	36,935 m ³	35,908 m ³	1,027 m ³	102.9 %
	1人1日平均	328.34 L	318.30 L	10.04 L	103.2 %
H 有収率 (G/F)	85.23 %	84.63 %	0.60 %	100.7 %	
I 供給単価 (注2)	149.09 円	168.43 円	△ 19.34 円	88.5 %	
J 給水原価 (注3)	167.26 円	169.34 円	△ 2.08 円	98.8 %	
K 料金回収率 (I/J)	89.14 %	99.46 %	△ 10.3 %	89.6 %	
L 供給単価－給水原価	△18.17 円	△0.91 円	△ 17.26 円	1,996.7 %	

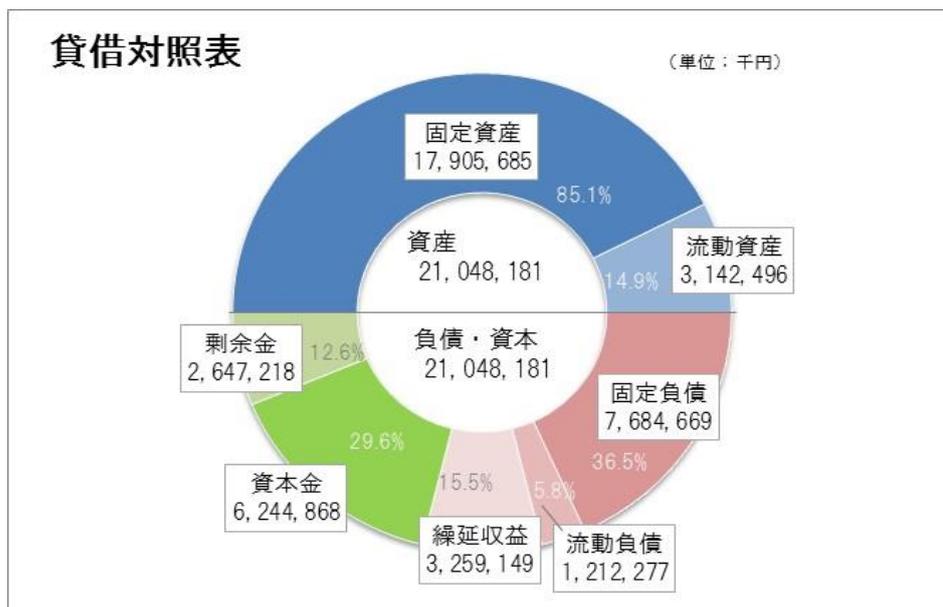
(注1) 有収 (注1) 有収水量：配水量のうち、料金収入として有益となる水量を表す。

(注2) 供給単価：水道水の使用者の皆様から料金をいただく1m³当りの平均単価。(消費税抜き)

(注3) 給水原価：水道水を1m³作るのに必要とする経費。(消費税抜き)

(3) 貸借対照表

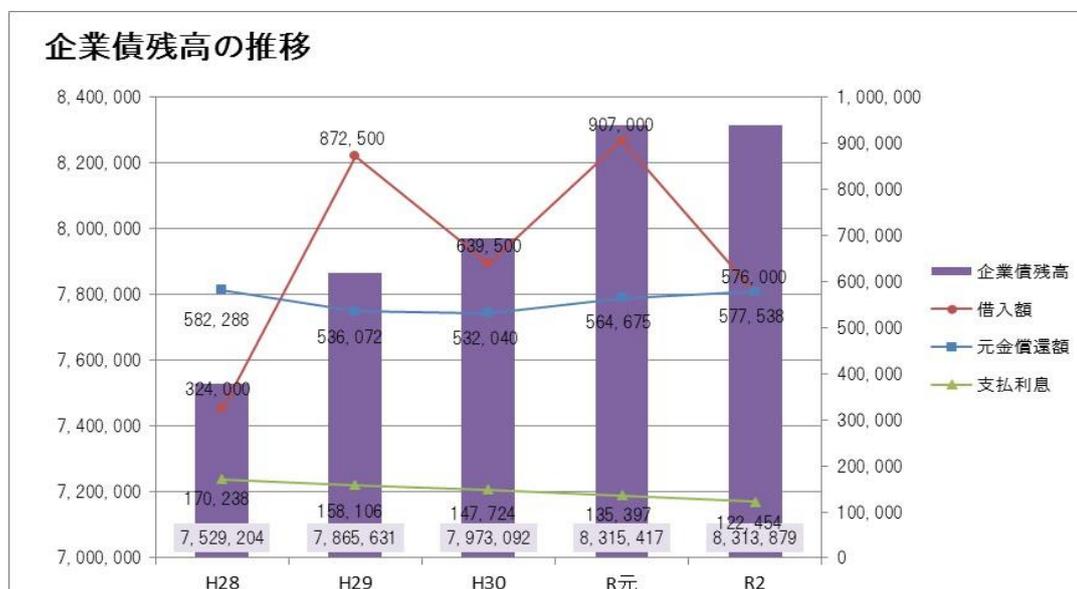
借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
資産		負債	
固定資産	17,905,684,773 円	固定負債	7,684,668,605 円
流動資産	3,142,496,534 円	流動負債	1,212,277,396 円
		繰延収益	3,259,149,018 円
		負債合計	12,156,095,019 円
		資本	
		資本金	6,244,868,622 円
		剰余金	2,647,217,666 円
		資本合計	8,892,086,288 円
資産合計	21,048,181,307 円	負債・資本合計	21,048,181,307 円



(4) 企業債残高

R 元末残高	+	R 2 借入額	-	R 2 償還額	=	R 2 末残高
8,315,416,951 円		576,000,000 円		577,537,601 円		8,313,879,350 円

(前年比：△1,537,601 円)



3 実 施 状 況

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 1 安心して飲める水道（安全・安心）

方策の柱 1 水質管理体制の充実

実現方策 ① 適正な水質管理の充実

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算)年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	水質基準不適合率：(水質基準不適合回数/全検査回数)×100 (%)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (決算)	3年度 (当該年)	4年度	
1	水質管理事業	<p>【目標】市民が安心して飲める水道水を供給するため、水質管理の充実を図る。</p> <p>(目標値) 水質基準不適合率：0%</p> <p>【概要】水道法に基づき、毎年度「水質検査計画」を策定し、計画的に水質検査を実施するとともに、その結果を市ホームページや水道課での閲覧により公開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 浄水場の配水系統ごとの水質検査を毎月実施（浄水） 【主な検査項目】 <ul style="list-style-type: none"> ①人の健康保護に関する項目（一般細菌・大腸菌・ホルムアルデヒド等） ②生活利用上障害を生ずるおそれのある項目（味・臭気・色度・濁度等） 各浄水場や給水管末端の公共施設での水質検査を毎日実施（浄水） 【検査給水柱数】 <ul style="list-style-type: none"> ①17箇所（浄水場の配水系統毎） 【検査項目】 <ul style="list-style-type: none"> ①色度・濁度・残留塩素 市内24箇所(1箇所休止)の井戸の水質検査を年1回実施（原水） 【原水のクリプトスポリウム等に係る指標菌】 全箇所不検出(R元年度) 水道水の水質検査結果の公表 	1 ・ 目標を達成	指標(単位)	水質基準不適合率：(水質基準不適合回数/全検査回数)×100 (%)					<ul style="list-style-type: none"> 検査項目、検査回数等について、随時見直しを行い、水道水の水質管理の充実を図る。 引き続き、水質検査計画に基づき水道法（全51項目）に規定する水質検査を実施するとともに、市ホームページ等で結果を公開する。 	
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (決算)	3年度 (当該年)		4年度
					目標	0	0	0	0	0		0
					実績	0	0	0	0			
					<p>【評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水質検査計画に基づき水質検査を実施した結果、水道法で定める基準に適合した水道水を市民に供給することができた。 							

令和2年度 水質検査結果一覧表

地 域 名			加 須 地 域	騎 西 地 域	北 川 辺 地 域	大 利 根 地 域
浄 水 場 系 統			久 下 浄 水 場	騎 西 浄 水 場	中 央 浄 水 場	第 3 浄 水 場
No	項 目	基 準 値	—	—	—	—
1	一般細菌	100 個/ml以下	0	0	0	0
2	大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出
3	カドミウム及びその化合物	0.003 mg/l以下	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
4	水銀及びその化合物	0.0005 mg/l以下	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
5	セレン及びその化合物	0.01 mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
6	鉛及びその化合物	0.01 mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
7	ヒ素及びその化合物	0.01 mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
8	六価クロム化合物	0.05 mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
9	亜硝酸態窒素	0.04 mg/l以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg/l以下	1.35	1.19	1.24	1.48
12	フッ素及びその化合物	0.8 mg/l以下	0.09	0.07	0.07	0.09
13	ホウ素及びその化合物	1.0 mg/l以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満
14	四塩化炭素	0.002 mg/l以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
15	1,4-ジオキサン	0.05 mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
17	ジクロロメタン	0.02 mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
18	テトラクロロエチレン	0.01 mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
19	トリクロロエチレン	0.01 mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
20	ベンゼン	0.01 mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
21	塩素酸	0.6 mg/l以下	0.08	0.09	0.05 未満	0.06
22	クロロ酢酸	0.02 mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
23	クロロホルム	0.06 mg/l以下	0.012	0.008	0.01	0.011
24	ジクロロ酢酸	0.04 mg/l以下	0.007	0.007	0.008	0.006
25	ジプロモクロロメタン	0.1 mg/l以下	0.007	0.013	0.010	0.003
26	臭素酸	0.01 mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
27	総トリハロメタン	0.1 mg/l以下	0.029	0.038	0.034	0.021
28	トリクロロ酢酸	0.2 mg/l以下	0.008	0.006	0.007	0.008
29	プロモジクロロメタン	0.03 mg/l以下	0.008	0.012	0.011	0.007
30	プロモホルム	0.09 mg/l以下	0.002	0.005	0.003	0.001 未満
31	ホルムアルデヒド	0.08 mg/l以下	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満
32	亜鉛及びその化合物	1.0 mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
33	アルミニウム及びその化合物	0.2 mg/l以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.03
34	鉄及びその化合物	0.3 mg/l以下	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満
35	銅及びその化合物	1.0 mg/l以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
36	ナトリウム及びその化合物	200 mg/l以下	20.5	20.4	13.5	10.0
37	マンガン及びその化合物	0.05 mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
38	塩化物イオン	200 mg/l以下	30.3	33.2	23.9	12.8
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg/l以下	76	74	60	54.0
40	蒸発残留物	500 mg/l以下	177	180	149	118
41	陰イオン界面活性剤	0.2 mg/l以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
42	ジェオスミン	0.00001 mg/l以下	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001 mg/l以下	0.000002	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
44	非イオン界面活性剤	0.02 mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
45	フェノール類	0.005 mg/l以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3 mg/l以下	1.0	0.8	0.7	0.8
47	pH 値	5.8 以上 8.6 以下	7.3	7.4	7.6	7.1
48	味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
49	臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
50	色度	5 度以下	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満
51	濁度	2 度以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 1 安心して飲める水道（安全・安心）

方策の柱 1 水質管理体制の充実

実現方策 ② 貯水槽水道の指導

【評価】は4段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	（決算）年度の取組内容【計画】	評価	（決算）年度の取組内容【実績】・評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等																																										
2	水道一般管理事業	<p>【目標】市民が安心して飲める水を供給するため、貯水槽水道の指導の充実を図る。</p>	<p>・給水装置工事施工時の設計審査及び竣工検査の実施</p>	2・概ね達成	<p>・給水装置工事施工時の設計審査及び竣工検査の実施 貯水槽水道4基【一般住宅(1)・集合住宅(1)・多目的ホール(1)・老人ホーム(1)】</p> <p>【貯水槽水道の設置状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 累計設置数</th> <th>H30 設置数</th> <th>R元 設置数</th> <th>R2 設置数</th> <th>累計設置数</th> <th>左記のうち助言、 指導等件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加須</td> <td>249</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>259</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>騎西</td> <td>64</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>66</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>北川辺</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>大利根</td> <td>63</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>69</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>393</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>411</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		H29 累計設置数	H30 設置数	R元 設置数	R2 設置数	累計設置数	左記のうち助言、 指導等件数	加須	249	3	3	4	259	0	騎西	64	0	0	2	66	0	北川辺	17	0	0	0	17	0	大利根	63	1	1	4	69	0	計	393	4	4	10	411	0	<p>・新規の貯水槽水道の設置が適正に実施されるよう指導等を行うとともに、担当課（環境政策課）と連携し、貯水槽水道の管理に関する指導や助言等を引き続き行う。</p>
					H29 累計設置数	H30 設置数	R元 設置数	R2 設置数	累計設置数	左記のうち助言、 指導等件数																																						
加須	249	3	3	4	259	0																																										
騎西	64	0	0	2	66	0																																										
北川辺	17	0	0	0	17	0																																										
大利根	63	1	1	4	69	0																																										
計	393	4	4	10	411	0																																										
<p>【概要】貯水槽水道の設置者・使用者等に対して情報の提供、指導、助言を行うとともに、衛生部局と連携を図り、点検の強化を進める。</p>	<p>【評価の理由】</p> <p>・給水装置工事施工時における設計審査及び竣工検査を通して、環境政策課と連携し、貯水槽水道の設置者等に適切な助言・指導を円滑に実施することができたため。</p>																																															

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 1 安心して飲める水道（安全・安心）

方策の柱 1 水質管理体制の充実

実現方策 ③管路内水質管理の充実

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算) 年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	洗管実施率：(洗管実施配水管延長/配水管総延長)×100 (%)						
3	水道管路洗管事業	【目標】市民が安心して飲める水道水を供給するため、水道管内の水質管理の充実を図る。 (目標値) 令和4年度までに市内全域の洗管を実施する。 【概要】浄水場から給水管に至る管路内の水質を保持するため、水道管の洗管作業を実施し、濁り水の発生等、水質への影響を予防する。	騎西地域の洗管計画を作成し、1ブロックの洗管作業実施した。	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	洗管実施率：(洗管実施配水管延長/配水管総延長)×100 (%)						・今後の事業については、濁り水の発生状況や財政状況を踏まえて実施する。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (決算)	3年度 (当該年)	4年度	
					目標	70.8	67	74	87	100	100	
					実績	62.5	70.7	76.2	76.4			
					【評価の理由】 ・騎西地域の洗管計画（令和2～6年度）を策定し、この計画に基づく令和2年度分の洗管作業を実施できた。							

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 1 安定給水の確保

実現方策 ①地下水の適正管理

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算) 年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	$\text{地下水受水率} = \left(\frac{\text{地下水受水量}}{\text{地下水受水量} + \text{地表水取水量}} \right) \times 100 (\%)$						
4	水道水源確保対策事業	<p>【目標】 安定給水の確保のため、地下水の適正管理に努める。</p> <p>(目標値) 地下水と地表水の割合を7:3に維持する。</p> <p>【概要】 本市の水源である地下水と地表水の使用を適正な割合に維持し、二元水源の継続的な確保と貴重な資源である地下水の保全に努める。</p>	<p>・地下水及び地表水の状況</p> <p>【地下水受水量】 11,153,709m³ (67.91%)</p> <p>【地表水取水量】 5,269,601m³ (32.09%)</p>	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	地下水受水率：(地下水受水量/(地下水受水量+地表水取水量))×100 (%)						<p>・地下水と地表水の割合を7:3に維持する。</p>
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (決算)	3年度 (当該年)	4年度	
					目標	70	70	70	70	70	70	
					実績	68.9	69.0	69.1	67.9			
					<p>【評価の理由】</p> <p>・本市の水道水源は、地下水と自己水（深井戸）の二元水源であり、地下水と地表水の割合を概ね7:3に維持することができたため。</p>							

2 安定して供給できる水道 — 1 安定給水の確保

① 地下水の適正管理

令和2年度の実施状況

【県水と地下水の状況について】（令和元年度実績）

（単位：m³）

	県水受水量	地下水取水量	計
加須地域	6,554,452(71.2%)	2,647,333(28.8%)	9,201,785(100.0%)
騎西地域	2,043,784(66.7%)	1,018,483(33.3%)	3,062,267(100.0%)
北川辺地域	850,527(54.6%)	706,842(45.4%)	1,557,369(100.0%)
大利根地域	1,704,946(65.5%)	896,943(34.5%)	2,601,889(100.0%)
合 計	11,153,709(67.9%)	5,269,601(32.1%)	16,423,310(100.0%)

・地下水の過剰採取は、地盤沈下等につながることから、揚水量及び地下水位の変動を流量計及び水位計により常時測定し、過剰採取による水位の低下がないか監視している。

地下水の揚水状況（過去5年間）

（単位：m³）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加須地域	2,720,183	2,399,312	2,388,780	2,405,615	2,647,333
騎西地域	1,023,562	905,580	925,586	937,128	1,018,483
北川辺地域	726,720	886,312	829,256	810,092	706,842
大利根地域	787,001	865,558	859,806	843,340	896,943
合 計	5,257,466	5,056,762	5,003,428	4,996,175	5,269,601
対前年度比	105.33%	96.18%	98.95%	99.86%	105.47%

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 1 安定給水の確保

実現方策 ②老朽化施設の計画的な統廃合・更新

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	浄水場数						
5	浄水場統廃合更新（耐震化）整備事業 浄水場設備改修事業	【目標】水道水を安定供給するため、老朽化した浄水場の計画的な統廃合・更新を行う。 （目標値） 令和4年度までに浄水場を7箇所に集約する。 【概要】現在の施設能力は、将来の水需要に対して、十分な余裕がある。このため、今後の経年施設の更新については、施設能力の適正化を図りながら施設の統廃合を進める。	・久下浄水場次亜注入設備更新工事に着手 ・久下浄水場電気及び機械設備工事が完成	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	浄水場数						・令和4年度末が目標となっていた騎西地域及び北川辺地域の浄水場統合の方法や時期を再検討する。 ・浄水場統廃合更新事業には、多額の事業費を要するため、国庫補助金等の財源の確保を図る。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (決算)	3年度 (当該年)	4年度	
					目標	9	9	9	9	9	7	
					実績	9	9	9	9			
					【評価の理由】 ・久下浄水場電気及び機械設備工事が完成し、久下浄水場次亜注入設備更新工事に着手することができた。							

2 安定して供給できる水道 — 1 安定給水の確保

② 老朽化施設の計画的な統廃合・更新

事業概要

【浄水場の施設能力】

R2一日最大配水量 ①	施設配水能力 ②	認可水量	最大稼働率 ①／②
46,912m ³ ／日	80,800 m ³ ／日	53,600 m ³ ／日	58.06%

平成 25 年 4 月 1 日 厚生労働大臣より創設認可取得 認可水量 53,600 m³／日

【浄水場の統廃合計画】

現状施設数	計 画		備 考
	令和 4 年度	令和 14 年度	
加須地域 3 箇所	3 箇所	2 箇所	睦町浄水場の廃止
騎西地域 2 箇所	1 箇所	1 箇所	騎西第 1 浄水場の廃止
北川辺地域 2 箇所	1 箇所	1 箇所	北川辺北部浄水場の廃止
大利根地域 2 箇所	2 箇所	1 箇所	大利根第 2 浄水場の廃止
合 計 9 箇所	7 箇所	5 箇所	

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 1 安定給水の確保

実現方策 ③緊急時用連絡管の整備

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算) 年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	緊急時用連絡管整備率：(緊急時用連絡管整備数/緊急時用連絡管数)×100 (%)						
6	水道危機管理対策事業	<p>【目標】緊急時における水道水の安定給水の確保のため、緊急時用連絡管の整備を行う。</p> <p>(目標値) 令和元年度までに緊急時用連絡管の整備を行う。</p> <p>【概要】現状の配水ブロック間に、緊急時のバックアップ体制の充実を図るため、相互融通に必要な緊急時用連絡管の整備を行う。</p> <p>【緊急時用連絡管】 加 須⇄騎 西(2路線) 加 須⇄大利根(1路線) 北川辺⇄板倉町(1路線)</p>	<p>・群馬東部水道企業団と合同で、操作訓練を実施した。</p>	1・ 目標を達成	指標(単位)	緊急時用連絡管整備率：(緊急時用連絡管整備数/緊急時用連絡管数)×100 (%)						<p>・職員の応援配水要請方法及び水道施設の操作手順の確認のため、定期的な操作訓練を実施する。</p>
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度(決算)	3年度(当該年)	4年度	
					目標	100	75	100	100	100	100	
					実績	100	75	100	100			
					<p>【評価の理由】</p> <p>・北川辺地域と群馬県板倉町を結ぶ緊急時用連絡管工事を計画どおり終えることができた。</p>							

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 1 安定給水の確保

実現方策 ④石綿セメント管の計画的な更新

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算)年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	石綿セメント管残存率：(石綿セメント管残延長/管路総延長)×100 (%)						
7	石綿セメント管更新（耐震化）事業	<p>【目標】災害時に市民に安定した水道水を供給するため、配水管の耐震化を図る。</p> <p>(目標値) 石綿セメント管残存率を令和4年度までに7.1%とする。</p> <p>【概要】安全で安心な水の安定供給のため、石綿セメント管更新計画に基づき、耐震化を図る。</p>	<p>・石綿セメント管更新（耐震化）工事の実施</p> <p>石綿セメント管撤去延長 L=2,794m 加須 1,455m 騎西 768m 北川辺 355m 大利根 216m</p>	2・概ね達成	指標(単位)	石綿セメント管残存率：(石綿セメント管残延長/管路総延長)×100 (%)						<p>・他事業の工事と連携し、効率的な事業推進に努める。</p> <p>・消費税の改定や人件費の高騰による事業費の増加、浄水場設備の更新等、他事業との投資効果を勘案し、平成29年度に水道ビジョンの見直しと合わせて、石綿セメント管更新計画の見直しを行った。今後、更新計画に基づき、計画的に事業を進めていく。</p>
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度(決算)	3年度(当該年)	4年度	
					目標	30.2	29.2	28.2	27.3	25.3	24.2	
					実績	29.9	28.8	27.7	26.5			
					<p>※市の総合振興計画に合わせて指標の残存率の算出方法の考え方を変更し、分母を平成28年度末時点の石綿セメント管延長に改め、指標値を変更した。</p> <p>【評価の理由】</p> <p>・石綿セメント管の更新（撤去）を2,794m実施したことにより、目標としていた石綿セメント管残存率については、概ね達成することができた。</p>							

実施状況報告書（別紙）

2 安定して供給できる水道 — 1 安定給水の確保

④ 石綿セメント管の計画的な更新

事業概要

【管種別布設状況】

（単位：m）

	ダ ク タ イ ル 管	石 綿 セ メ ン ト 管	綿 管	塩 ビ ニ ル 化 管	ポ リ エ チ レ ン 管	そ の 他	計
加須地域	144,129	30,851		176,585	40,479	1,179	393,223
騎西地域	17,333	6,738		181,087	10,335	255	215,748
北川辺地域	21,600	18,705		49,216	9,228	213	98,962
大利根地域	49,249	5,595		74,328	18,425	1,299	148,896
合 計	232,311	61,889		481,216	78,467	2,946	856,829
比 率(%)	27.11%	7.22%		56.16%	9.16%	0.34%	100.00%

※石綿セメント管とは、石綿繊維（アスベスト・セメント等）を水で練り混ぜて製造した水道管であり、強度面や耐衝撃性で劣るとされている。

令和2年度の実施状況

・石綿セメント管更新事業の状況（令和2年度決算）

（単位：m, %）

	配 水 管 総 延 長 ①	石 綿 セ メ ン ト 管 総 延 長 ② (平成28年度末時点)	石 綿 セ メ ン ト 管 残 延 長 ③	石 綿 セ メ ン ト 管 令 和 2 年 度 撤 去 延 長	配 水 管 総 延 長 に 対 す る 残 存 率 ③ / ① (令和2年度末対比)	石 綿 セ メ ン ト 管 総 延 長 に 対 す る 残 存 率 ③ / ② (平成28年度末対比)
加須地域	393,223	113,722	30,709	1,454.8	7.81%	27.0%
騎西地域	215,748	44,980	6,901	768.1	3.20%	15.3%
北川辺地域	98,963	34,486	18,693	355.3	18.89%	54.2%
大利根地域	148,896	40,803	5,595	215.4	3.76%	13.7%
合 計	856,829	233,991	61,897	2,793.6	7.22%	26.5%

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 1 安定給水の確保

実現方策 ⑤水圧不足の解消

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算) 年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	旧簡易水道世帯残存率：(旧簡易水道による給水世帯数/世帯数)×100 (%)						
8	水圧不足対策事業 配水管新設整備事業	<p>【目標】水圧不足地域等に水道水を安定して供給するため、配水管の整備をし、水圧不足の解消を図る。</p> <p>(目標値) 旧簡易水道残存率を令和4年度までに4.3%とする。</p> <p>【概要】旧簡易水道地域の水圧不足解消や水圧不足等の地域要望に応じた配水管の布設替えを計画的に実施する。</p>	<p>・水圧不足配水管布設</p> <p>L=3,202m 加須 1,603m 騎西 698m 北川辺 367m 大利根 534m</p>	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	旧簡易水道世帯残存率：(旧簡易水道による給水世帯数/世帯数)×100 (%)						<ul style="list-style-type: none"> ・自治会要望等において、水圧不足改善を要望した地区や、水圧不足解消戸数の高い路線を選定し、配水管布設工事を実施する。 ・浄水場の大規模更新等、他の事業との投資効果を勘案し、事業の進捗を図る。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (決算)	3年度 (当該年)	4年度	
					目標	3.6	4.8	4.7	4.6	4.4	4.3	
					実績	5.0	4.9	4.7	4.5			
					<p>【評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標としていた旧簡易水道残存率については、配水管の新規布設や自治会要望に応じて旧簡易水道地域の水圧不足の解消に努めることができたため、旧簡易水道世帯残存率は概ね達成することができた。 							

2 安定して供給できる水道 — 1 安定給水の確保

⑤ 水圧不足の解消

令和2年度の実施状況

・水圧不足対策事業の状況（令和2年度決算）

（世帯数：戸）

	世帯数① （平成25年度）	旧簡易水道 残存世帯数②	旧簡易水道世帯残存率 ②/①	令和2年度 解消世帯数
加須地域	26,611	1,854	6.97%	42
騎西地域	6,949	31	0.45%	20
北川辺地域	4,483	42	0.94%	12
大利根地域	5,127	22	0.43%	15
合 計	43,170	1,949	4.51%	89

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 1 安定給水の確保

実現方策 ⑥埼玉県企業局との協力体制の継続

【評価】は4段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	（決算）年度の取組内容	評価	（決算）年度の取組内容【実績】・評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
9	水道水源確保対策事業	<p>【目的】水道水を安定して供給するため、埼玉県企業局との協力体制の強化を図る。</p> <p>【概要】県水の水质、事故情報、建設計画、経営状況等及び情報交換に努める。</p>	<p>・埼玉県企業局や埼玉県行田浄水場と県水の水质・事故・工事・運転状況等の情報共有を実施</p>	2 ・ 概 ね 達 成	<p>・県が実施するテレメータ設備等の点検作業に協力した。</p> <p>・デジタルMCA無線機(県から貸与)による情報伝達訓練を実施した。</p> <p>・FAXを利用した行田浄水場からの情報伝達訓練を実施した。</p> <p>・県水送水ポンプの切替等の運転状況を共有した。</p> <p>【評価の理由】</p> <p>・埼玉県企業局や埼玉県行田浄水場との情報共有により、安定的な受水ができた。</p>	<p>・引き続き、埼玉県企業局との協力体制を維持・強化し、県水の安定的受水に努める。</p>

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 2 水道施設の耐震化

実現方策 ①施設の耐震化

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算)年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	耐震診断実施率：(耐震診断を実施した浄水場/耐震診断を必要とする浄水場)×100 (%)						
10	浄水場統廃合更新(耐震化)整備事業	<p>【目標】震災時の配水拠点となる浄水場の耐震化を図る。</p> <p>(目標値) 耐震診断を令和4年度までに100%とする。</p> <p>【概要】耐震診断100%の目標を達成しているため、今後においては、非耐震の浄水場施設の補強工事を順次実施する。</p>	<p>・平成30年度に着手した久下浄水場電気及び機械設備工事が完成</p> <p>・加須市上水道管理センター耐震補強改修実施設計委託が完了</p> <p>・令和2年度久下浄水場次亜注入設備更新工事に着手</p>	1・目標を達成	指標(単位)	耐震診断実施率：(耐震診断を実施した浄水場/耐震診断を必要とする浄水場)×100 (%)						<p>・浄水場統廃合計画と整合を図りながら施設の耐震化を推進する。</p> <p>・久下浄水場の水道課事務所棟の耐震改修工事を実施する。</p> <p>・久下浄水場の施設更新の完成後、非耐震の旧ポンプ場の解体や外構整備を実施する。</p>
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度(決算)	3年度(当該年)	4年度	
					目標	100	100	100	100	100	100	
					実績	100	100	100	100			
					指標(単位)	浄水場耐震化率：(耐震補強を実施した浄水場施設能力/耐震補強を必要とする浄水場施設能力)×100 (%)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度(決算)	3年度(当該年)	4年度	
					目標	0	0	0	21.7	21.7	21.7	
					実績	0	0	0	21.7			
					指標(単位)	配水池耐震化率：(耐震補強を実施した配水池容量/耐震補強を必要とする配水池容量)×100 (%)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度(決算)	3年度(当該年)	4年度	
					目標	36.8	36.8	36.8	51.5	51.5	51.5	
					実績	36.8	36.8	51.5	51.5			
					【評価の理由】							
					・久下浄水場の浄水・配水施設の耐震化が完了できたため。							

実施状況報告書（別紙）

【浄水場施設の耐震診断結果】

水道ビジョンに基づき、平成 25 年度から実施していた浄水場施設の耐震診断が、平成 27 年度に完了した。結果は、下表のとおりである。今後、耐震補強等については、浄水場統廃合更新に併せ計画的に実施する。

施設名称		レベル1地震動				レベル2地震動			
		底版	頂版	壁	杭基礎	底版	頂版	壁	杭基礎
久下	PC配水池	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
	ポンプ井	NG	NG	OK	OK	NG	NG	OK	NG
	管理棟					NG			NG
睦町	PC配水池	OK	OK	OK	OK	NG	OK	OK	OK
	着水井	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG
	混和池,ろ過ポンプ井	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG
	管理棟					OK			NG
加須北部	PC配水池	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
	着水井、混和池	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG	NG
	管理棟					NG			NG
騎西第1	着水井	NG	NG	OK	NG	NG	NG	OK	NG
	混和池,ろ過ポンプ井	NG	NG	OK	NG	NG	NG	OK	NG
	管理棟					NG			NG
騎西第2	PC配水池 No.1	OK	OK	OK	OK	NG	OK	OK	NG
	PC配水池 No.2	OK	OK	OK	OK	NG	OK	OK	NG
	管理棟					OK			NG
	ポンプ棟					OK			NG
北川辺中央	PC配水池 No.1	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	NG
	PC配水池 No.2	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
	ポンプ井	OK	OK	OK	OK	NG	OK	NG	NG
	管理棟					NG			NG
大利根第2	旧管理棟					NG			NG
	監視棟					OK			NG
	薬注棟					OK			NG
大利根第3	PC配水池 No.1	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
	PC配水池 No.2	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK
	混和池	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	NG
	1系管理棟					OK			OK
	2系管理棟					OK			NG

OK：耐震性・適合、NG：耐震性・不適合

・レベル1地震動：水道施設の耐震診断に用いた設計地震動で、震度5弱程度の比較的発生頻度が高い地震。

被害が生じないことを目標とする。

・レベル2地震動：震度6強以上で、対象地点において最大級の地震。

施設の機能を保持することを目標とする。建築物では大地震と呼ばれ人命を守ることを目標とする。

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 2 水道施設の耐震化

実現方策 ②基幹管路の耐震化

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算) 年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	基幹管路の耐震適合率：(耐震管延長/管路総延長)×100 (%)						
11	石綿セメント管 更新（耐震化） 事業	<p>【目標】震災時における水道水の安定供給に向けて、基幹管路（口径150mm以上）の耐震化を図る。</p> <p>（目標値） 基幹管路の耐震適合率を令和4年度までに23.2%とする。</p> <p>【概要】病院、学校、介護施設及び拠点避難所等の重要度の高い施設への配水管路を優先的に石綿セメント管更新事業と調整を図りながら、基幹管路の耐震化を実施す</p>	<p>・基幹管路配水管布設</p> <p>L=1,238m</p> <p>加 須 730m</p> <p>騎 西 266m</p> <p>大利根 242m</p>	1・ 目標を達成	年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (決算)	3年度 (当該年)	4年度	<p>・引き続き、震災時における水道水の安定供給に向けて、国庫補助金等を活用した財源確保を検討するとともに、基幹管路の耐震化を推進する。</p>
					目標	23.4	22.0	22.3	22.6	22.9	23.2	
					実績	21.7	21.9	22.7	22.8			
					【評価の理由】							
<p>・震災時における水道水の安定供給に向けて、基幹管路の耐震化を1,238m実施し、目標としていた基幹管路の耐震適合率を達成することができた。</p>												

2 安定して供給できる水道 — 2 水道施設の耐震化

② 基幹管路の耐震化

令和2年度の実施状況

・ 基幹管路の耐震化事業の状況（令和2年度決算）

（単位：m）

	基幹管路 総延長 ①	耐震性のある 基幹管路延長 ②	耐震性のない 基幹管路延長	耐震適合性 の割合 ② / ①
加須地域	137,040	12,727	124,313	9.3%
騎西地域	93,703	38,071	55,632	40.6%
北川辺地域	24,946	5,532	19,414	22.2%
大利根地域	44,244	11,934	32,310	27.0%
合計	299,933	68,264	231,669	22.8%

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 3 管理体制の強化

実現方策 ①集中管理体制の強化 ④施設情報システムの導入

【評価】は4段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	（決算）年度の取組内容【計画】	評価	（決算）年度の取組内容【実績】・評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
12	浄水場統廃合更新（耐震化）整備事業 水道施設維持管理事業	<p>【目的】・水道施設の統廃合を図り、効率的な省エネルギー・省力化運営を実現する。</p> <p>・浄水場及び水源施設の現状を把握し、日常の維持管理、将来の更新計画策定及び災害時の応急復旧の的確・迅速化を図る。</p> <p>（目標）</p> <p>・久下浄水場への集中監視・管理機能の構築と施設情報システムの導入を令和2年度末までに実施する。</p> <p>【概要】・久下浄水場の中央監視制御設備の更新</p> <p>・久下浄水場への騎西地域の中央監視制御設備の整備</p> <p>・施設情報システムの導入</p>	<p>・久下浄水場監視制御設備の更新</p>	2 ・ 概 ね 達 成	<p>・久下浄水場電気及び機械設備工事において、睦町と加須北部浄水場の中央監視制御設備の更新を実施した。</p> <p>・久下浄水場中央監視棟に騎西浄水場の遠方監視制御端末を設置した。</p> <p>・久下浄水場中央監視棟に北川辺中央・北部浄水場の遠方監視端末を設置した。</p> <p>・施設情報システム導入の調査・検討を実施。</p> <p>【評価の理由】</p> <p>・大利根地域を除く各浄水場の監視機能が整備されたため。</p>	<p>・大利根地域の浄水場監視制御設備の更新に合わせて、遠方監視制御機能を整備する。</p> <p>・北川辺地域に遠方制御機の追加整備を行う。</p> <p>・施設情報システムについては、国からの通知等に基づき、システムに必要な機能などの仕様の調査を実施すると共に、引き続き導入の検討を実施する。</p>

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 3 管理体制の強化

実現方策 ②人材の育成

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算) 年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	外部研修への参加回数：(回/年)						
13	水道一般管理事業	【目標】水道職員の技術や知識レベルの確保 (目標値) 外部研修に年10回参加する。 【概要】日本水道協会等が主催する外部研修への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修への積極的な参加 【業務担当】1回 ①市町村アカデミー- 上下水道事業の経営管理 【工務担当】2回 ①水道基礎講座 ほか 	4 ・ 大 幅 に 遅 れ て い る	年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (決算)	3年度 (当該年)	4年度	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、研修の機会を捉えて、積極的に参加することで、技術や知識レベルの確保に努めていく。
					目標	10	10	10	10	10	10	
					実績	12	16	8	3			
					【評価の理由】	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修への積極的な参加を通じて、水道職員の技術や知識レベルの確保を図ることを目的としているが、工務担当(2人)の人事異動のみであったため、研修対象者が少なく、更に、対象となる他の研修についても既に受講済みの職員が多かったため、目標としていた参加回数の50%未満となってしまった。 						

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 3 管理体制の強化

実現方策 ③管路管理システムの整備

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算) 年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	管路管理システムの整備率：(整備済延長/総管路延長)×100 %						
14	水道施設維持管理事業	<p>【目標】管理業務の効率化や窓口業務の円滑かつ迅速な対応及び災害時における応急復旧作業の効率化を図る。</p> <p>(目標値) 管路管理システムを令和4年度までに全市域に整備する。</p> <p>【概要】加須地域で使用している管路管理システムを拡充し、市域全体で統一的な管路管理を実施する。</p>	<p>・管路の布設替えに伴う変更情報及び北川辺地域の給水情報を整備した。</p>	1・目標を達成	指標(単位)	管路管理システムの整備率：(整備済延長/総管路延長)×100 %						<p>・騎西地域洗管作業に伴う本管情報の点検や騎西地域の給水情報の整備を行っていく。</p>
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度(決算)	3年度(当該年)	4年度	
					目標	62.1	62.1	68.7	74.5	100	100	
					実績	62.7	63.1	86.9	96.4			
					<p>【評価の理由】</p> <p>・管路の新設や布設替えに伴う変更情報及び北川辺地域の給水情報の整備を計画的に行い、事業実施による効果が表れたため。</p>							

2 安定して供給できる水道 — 3 管理体制の強化

③ 管路管理システムの整備

事業概要

・管路施設の管理は、旧市町で様々な方法・様式などで行われており、迅速化を求められる事故対応や管路更新事業の効率的な対応に苦慮していることから、加須地域で採用している管理システムを拡充し、市域全体での統一的な管理を行うことで、管理業務の効率化や窓口業務の円滑かつ迅速な対応を図る。
 なお、騎西地域については、現地調査を行い給水管の管路管理システムを整備する予定。

（管路管理システムの整備状況）

地 域	管理方法等
加 須	管路管理システムにおける管路データベース化済（平成 18 年度）
騎 西	管路管理システムにおける配水管のみデータベース化済（平成 29 年度、令和元年度）
北川辺	管路管理システムにおける管路データベース化済（令和 2 年度）
大利根	管路管理システムにおける管路データベース化済（平成 28 年度）

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 2 安定して供給できる水道（安定）

方策の柱 4 災害対策の充実

実現方策 ①危機管理マニュアルの充実 ②応急給水の充実

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	訓練の実施頻度：（回/年）						
15	水道危機管理対策事業	<p>【目標】緊急時に水道水の安定給水の確保を図る。</p> <p>（目標値） 応急給水訓練を年3回実施する。</p> <p>【概要】・応急給水訓練の定期的な実施や危機管理マニュアルの充実を図り、災害時における迅速かつ適切な体制を整備する。 ・水道事業の耐震化を図る。</p>	<p>・応急給水訓練等の実施及び参加(4回)</p> <p>・災害対策事業の実施 ⇒老朽化施設の計画的な統廃合・更新（再掲） ⇒緊急時用連絡管の整備（再掲） ⇒石綿セメント管の更新（再掲） ⇒施設の耐震化（再掲）</p> <p>※市の防災訓練は未開催</p>	1・目標を達成	年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (決算)	3年度 (当該年)	4年度	<p>・引き続き、地域防災計画等に基づき、給水訓練を実施するとともに、緊急時における水道水の安定給水を確保するため、応急給水の充実を図る。</p>
					目標	3	3	3	3	3	3	
					実績	6	6	6	4			
					【評価の理由】 ・緊急時用連絡管4箇所熟练操作訓練を実施し、目標としていた訓練の実施頻度を達成することができた。							

2 安定して供給できる水道 — 4 災害対策の充実

① 危機管理マニュアルの充実、② 応急給水の充実

令和2年度の実施状況

【給水訓練実施状況】

本訓練の目的は、緊急時に必要となる飲料水を迅速かつ適切に供給できる体制の確保を図る。

実施回数	実施日	実施場所	訓練内容
第1回	令和2年6月26日	緊急時連絡管(加須市⇔板倉町)	・群馬東部水道企業団と共同で緊急時連絡管の操作訓練を実施
第2回～第4回	令和2年8月4日	緊急時連絡管(上樋遣川⇔新利根) 緊急時連絡管(富士見町⇔上高柳) 緊急時連絡管(油井ヶ島⇔牛重)	・上下水道部で緊急時連絡管の操作訓練を実施

【災害対策事業】

・給水車の配備（令和2年5月28日契約、コロナ禍により生産が遅れており令和3年秋頃納車予定）

現在所有している車載式タンク（1,000ℓ:7基、500ℓ:3基）を積んだトラック（水道課:4台、他課借用6台）に加え、新たに3,000ℓのタンクと加圧ポンプを搭載した給水車を配備することにより、これまでより短時間で効率的に応急給水拠点への水の補給が可能となるだけでなく、被災地の災害派遣にも貢献することができるようになる。

- ・老朽化施設の計画的な統廃合・更新（再掲）
- ・緊急時連絡管の整備（再掲）
- ・石綿セメント管の更新（再掲）
- ・施設の耐震化（再掲）

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 未来へ引き継ぐ水道（持続）

方策の柱 1 健全財政の確立

実現方策 ①経営の健全化 ③運営基盤の強化

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算) 年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	純利益：(百万円)						
16	水道企業債償還 事業 水道料金収納対 策事業	【目標】経営の健全化を図る。 【概要】浄水場統廃合計画に基づき、浄水場施設運用の効率化を図るとともに、決算年度ごとに財政収支の見通しを見直し、定期的な水需要動向を踏まえた財政分析を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 健全な財政運営 ⇒黒字決算 116,759,106円 ⇒内部留保資金の確保 2,559,429,883円 ⇒未処分利益剰余金予定処分額 116,000,000円 (利益積立金への積立) 	1 ・ 目標を達成	指標(単位)	純利益：(百万円)						<ul style="list-style-type: none"> 水道事業の源泉である料金収入が、給水人口等の減少や、新型コロナウイルス感染症に対する生活支援として実施した水道基本料金の免除等に伴い、203,686千円減少したほか、給水世帯が629戸増加したものの、加入分担金が53,860千円減少するなど、全ての収入において減少したため、今後も水需要の動向を注視しながら、経費の節減に努める。 経営の効率性を検証するうえで重要な指標である有収率は、前年度と比較し0.60%増の85.23%となったが、まだまだ、施設の稼働が収益につながっていない状況にあるため、引き続き、漏水調査や老朽管の更新による有収率向上対策を講じる必要がある。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度(決算)	3年度(当該年)	4年度	
					目標	202	73	65	△6	15	△7	
					実績	358	307	230	116			
					指標(単位)	企業債残高：(百万円)						
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度(決算)	3年度(当該年)	4年度	
					目標	8,062	8,412	8,771	8,913	9,058	8,642	
					実績	7,865	7,973	8,315	8,313			
					【評価の理由】							
					・令和2年度決算における純利益は、赤字を見込んでいたが、黒字化を達成することができ、経営の健全化を図ることができた。一方、企業債残高については、目標は達成しているものの、浄水場統廃合更新（耐震化）整備事業の実施に伴い、一時的に増加しているため、更なる企業債残高の圧縮（新規借入額の抑制等）を図る必要がある。							

3 未来へ引き継ぐ水道 — 1 健全財政の確立

① 経営の健全化

令和2年度の実施状況

【財政収支見通し】

内 訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収益的収入	計画	2,524	2,535	2,546	2,537	2,534	2,477	2,382	2,337	2,302
	実績	2,564	2,620	2,634	2,637	2,645	2,678	2,665	2,564	
収益的支出	計画	2,368	2,328	2,330	2,332	2,333	2,404	2,317	2,343	2,287
	実績	2,322	2,392	2,400	2,416	2,287	2,371	2,435	2,448	
純利益	計画	157	207	216	205	202	73	65	-6	15
	実績	242	228	234	221	358	307	230	116	0
資本的収入	計画	334	384	542	596	578	860	952	741	794
	実績	323	317	330	349	903	735	986	587	
資本的支出	計画	1,197	1,305	1,615	1,720	1,640	1,687	1,876	1,626	1,742
	実績	1,210	1,185	1,105	1,264	1,687	1,622	2,060	1,429	
資本的収支不足額	計画	863	921	1,073	1,125	1,062	827	924	885	948
	実績	887	868	775	915	784	887	1,074	842	
資金残高	計画	1,428	1,410	1,273	1,121	963	2,008	1,954	1,883	1,772
	実績	1,970	1,993	2,123	2,131	2,400	2,539	2,479	2,559	
企業債残高	計画	8,371	8,131	8,063	8,049	8,062	8,412	8,771	8,913	9,058
	実績	8,366	8,071	7,787	7,529	7,865	7,973	8,315	8,313	

【参考】料金表

■水道料金

(単位：円)

基本料金 (1 箇月につき)	メーター口径	旧税率(8%)	新税率(10%)	差額
	13mm	432	440	8
	20mm	596	607	11
	25mm	1,182	1,204	22
	30mm	1,758	1,790	32
	40mm	3,106	3,163	57
	50mm	5,348	5,447	99
	75mm	11,808	12,027	219
	100mm	21,312	21,707	395
150mm	49,824	50,747	923	

水量料金 (1 m ³ につき)	水量	旧税率(8%)	新税率(10%)	差額
	10 m ³ まで	108	110	2
	11～20 m ³	129	132	3
	21～30 m ³	162	165	3
	31～50 m ³	194	198	4
	51～100 m ³	237	242	5
101 m ³ から	292	298	6	

■加入分担金

(単位：円)

加入分担金 (1 給水装置につき)	メーター口径	旧税率(8%)	新税率(10%)	差額
	13mm	194,400	198,000	3,600
	20mm	313,200	319,000	5,800
	25mm	550,800	561,000	10,200
	30mm	1,015,200	1,034,000	18,800
	40mm	2,181,600	2,222,000	40,400
	50mm	3,726,000	3,795,000	69,000
	75mm	10,044,000	10,230,000	186,000
	100mm	20,574,000	20,955,000	381,000
150mm	31,428,000	32,010,000	582,000	

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 未来へ引き継ぐ水道（持続）

方策の柱 1 健全財政の確立

実現方策 ②有収率の向上

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

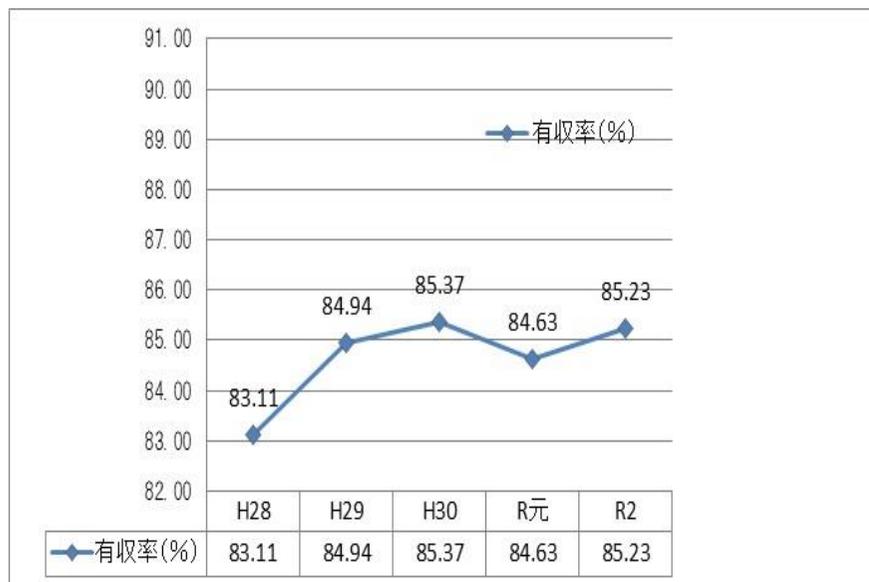
No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算) 年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	有収率：(年間有収水量/年間配水量) × 100 %						
17	有収率向上対策事業	【目標】有収率の向上により、貴重な資源である「水」の有効利用を図る。 (目標値) 有収率を令和4年度までに90%にする。 【概要】石綿セメント管更新事業(再掲)、水圧不足対策事業(再掲)及び有収率向上対策事業を計画的に実施し、有収率の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 石綿セメント管更新事業(再掲) 水圧不足対策事業(再掲) 	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	有収率：(年間有収水量/年間配水量) × 100 %						<ul style="list-style-type: none"> 今後も老朽管の更新といった基礎的対策と並行して、地域の実情を鑑みながら、個別音調査による漏水箇所の特特定、速やかな修繕対応といった対処療法的対策の実施により、年1%の有収率の改善を目標に対策を進めていく。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度(決算)	3年度(当該年)	4年度	
					目標	90.2	85.94	86.94	87.94	88.94	90.00	
					実績	84.94	85.37	84.63	85.23			
					【評価の理由】 ・漏水多発地区である花崎北地区の配水管布設替工事や老朽化した石綿セメント管更新工事を継続して実施し有収率の向上を図った結果、前年度比0.6%増となった。							

3 未来へ引き継ぐ水道 — 1 健全財政の確立

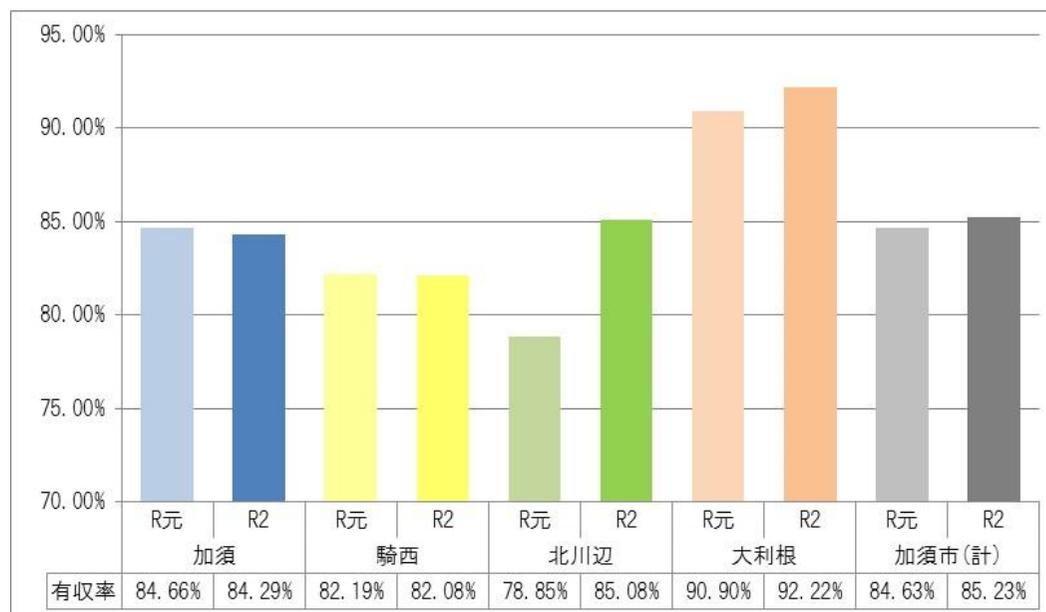
② 有収率の向上

令和2年度の実施状況

【有収率の推移】



【地域別有収率】



加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 未来へ引き継ぐ水道（持続）

方策の柱 2 市民サービスの向上

実現方策 ①情報提供の充実 ②料金納付における利便性の向上 ③給配水管の漏水修繕の迅速化

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算)年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	新規作成ホームページ（コンテンツ）数						
18	水道施設維持管理事業 水道一般管理事業	<p>【目標】・情報提供の更なる充実と利便性の向上を図る。 ・ライフラインの停滞を最小限に留めるため、漏水修繕の迅速化を図る。</p> <p>(目標値) ホームページを新規に年2ページ作成する。</p> <p>【概要】・市の広報紙やホームページを通じて、活動内容や事業のPRに関するタイムリーな情報発信に加え、よりわかりやすい情報提供に努める。 ・コンビニエンスストアでの収納 ・市指定給水装置工事事業者と連携した漏水修繕の迅速化を図る。</p>	<p>・情報提供活動 ⇒新規ホームページの作成</p> <p>・水道料金コンビニ収納 ⇒収納件数283,827件中、54,583件(19.2%)</p> <p>・漏水発生件数 340件</p>	1・目標を達成	指標(単位)	新規作成ホームページ（コンテンツ）数						<p>・引き続き、市の主要な広報媒体を通じて、定例的な情報発信を着実に実施するとともに、期限や紙面に制約のないホームページを中心に、事業活動や日常生活に関わる情報をわかりやすく提供できるよう、創意工夫を重ねていく。</p>
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度(決算)	3年度(当該年)	4年度	
					目標	2	2	2	2	2	2	
					実績	6	5	2	4			
					<p>【評価の理由】</p> <p>・財務情報や水道メーターの交換等の定例的な情報発信を着実に実施するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する生活支援情報（水道基本料金の免除・徴収猶予）や水道料金の納付方法の充実（スマートフォン決済PayB）のほか、三菱UFJ銀行窓口における水道料金等の取扱の終了について、情報提供に努め、目標としていた新規作成ホームページ数は達成することができたため。</p>							

実施状況報告書（別紙）

3 未来へ引き継ぐ水道 — 2 市民サービスの向上

①情報提供の充実、②料金納付における利便性の向上、③給配水管の漏水修繕の迅速化

令和2年度の実施状況

【情報提供（広報）活動実績】

提供日	提供媒体	提供内容	提供日	提供媒体	提供内容
R2. 4. 1	ホームページ	水道料金	R2. 6. 1	ホームページ	水道メーター交換の実施
R2. 4. 1	ホームページ	よくある質問	R2. 6. 1	市報かぞ	新型コロナウイルス感染症対策（生活支援<水道基本料金4ヶ月分100%免除>） 新
R2. 4. 1	ホームページ	指定工事店に関する申請等に係る書類（ダウンロード版）	R2. 7. 1	市報かぞ	水道メーター交換の実施
R2. 4. 1	ホームページ	漏水の確認方法について	R2. 7. 1	全戸配布	水道関係者（水道課職員）を装った詐欺等に関する注意喚起、水道メーター交換のお知らせ及び日常の漏水確認のお願い
R2. 4. 1	ホームページ	水道課職員を装った詐欺への注意喚起			
R2. 4. 1	ホームページ	加須市水道ビジョン改訂版	R2. 8. 1	市報かぞ	漏水調査の実施
R2. 4. 1	ホームページ	漏水した場合の水道料金の減免制度について	R2. 8. 1	市報かぞ	水道料金等をスマホで納付（PayB） 新
R2. 4. 1	ホームページ	水道料金の減免に関する規程の改正	R2. 8. 7	ホームページ	水道基本料金4箇月免除を8箇月延長して1年間無料化 新
R2. 4. 1	ホームページ	水道水の節水へのご協力	R2. 9. 1	市報かぞ	令和2年度一般会計補正予算などの概要（水道基本料金を1年間免除<水道事業会計繰出事業2億320万円>） 新
R2. 4. 1	ホームページ	火災などに伴う水道水の濁りについて			
R2. 4. 1	ホームページ	漏水確認を装った詐欺の注意喚起	R2. 10. 1	市報かぞ	市の主な新型コロナウイルス感染症対策（水道基本料金4箇月免除を8箇月延長して1年間無料化） 新
R2. 4. 1	ホームページ	給水契約の定形約款			
R2. 4. 1	ホームページ	指定給水装置工事事業者の指定に係る更新制の導入及び手数料の見直しのお知らせ	R2. 10. 2	ホームページ	令和元年度水道事業決算
			R2. 11. 1	市報かぞ	令和元年度決算の概要
R2. 4. 1	ホームページ	新型コロナウイルス感染症の影響により水道料金等のお支払いが困難な方からの相談対応 新	R2. 12. 1	市報かぞ	令和2年度上半期財政事情の公表
R2. 4. 1	市報かぞ	令和2年度予算の概要	R2. 12. 1	市報かぞ	水道管の凍結に注意 新
R2. 4. 1	市報かぞ	平成30年度決算に基づく財務書類4表の公表	R2. 12. 28	全戸配布	水道管の凍結防止チラシ
R2. 4. 1	市報かぞ	北川辺地域の緊急時用水道連絡管整備完了 新	R3. 1. 1	市報かぞ	水道庁舎仮庁舎移動 新
R2. 5. 1	市報かぞ	新型コロナウイルス感染症の影響による市内中小企業などへの支援（水道料金等の徴収猶予） 新	R3. 1. 8	ホームページ	三菱UFJ銀行窓口における水道料金等の取扱終了のお知らせ 新
			R3. 2. 1	市報かぞ	スマホやパソコンからも水道関係の手続き可能（電子申請サービス） 新
R2. 5. 29	ホームページ	水道料金等のスマートフォン決済（PayB）が可能 新	R3. 2. 15	ホームページ	令和元年度水道事業経営比較分析表
R2. 6. 1	市報かぞ	令和元年度財政事情の公表	R3. 2. 22	ホームページ	令和2年度上期水道事業業務状況
			毎月	市報かぞ	緊急水道工事連絡先

※「新」は令和2年度に新たに情報提供したものの

【水道料金コンビニ収納等実績】

収納区分		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
		件 数	割合	件 数	割合	件 数	割合
口座振替		219,531 件	76.9%	220,687 件	76.5%	216,103 件	76.2%
納付書	銀行等	14,571 件	5.1%	14,240 件	4.9%	13,141 件	4.6%
	コンビニ	51,441 件	18.0%	53,606 件	18.6%	54,583 件	19.2%
合 計		285,543 件	100.0%	288,533 件	100.0%	283,827 件	100.0%

・平成 25 年 4 月分から水道料金の収納をコンビニエンスストアで開始して以降、時間的制約を受けないコンビニの利用者は、年々増加していることから、市民の利便性向上に資する一定の投資効果があったものとする。

・ただし、経営の視点からは、取扱手数料が口座振替による場合は 10 円に対し、コンビニによる場合は 50 円であるため、水道事業としては口座振替による納付を更に推進していく。

【漏水発生件数】（令和 2 年度決算）

	本 管	給水管	量水器	その他	計
加須地域	34	75	15	48	172
騎西地域	8	6	4	3	21
北川辺地域	21	19	3	23	66
大利根地域	1	61	7	12	81
合 計	64	161	29	86	340

（令和元年度：300 件）

・漏水件数 340 件発生し、加須市指定給水装置工事事業者と連携し迅速な漏水修繕に努めた。

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 未来へ引き継ぐ水道（持続）

方策の柱 3 環境に配慮した取り組み

実現方策 ①環境対策の推進

【評価】は4段階評価（2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	（決算）年度の取組内容【計画】	評価	（決算）年度の取組内容【実績】・評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
19	水道施設維持管理事業 浄水場統廃合更新（耐震化）整備事業	【目的】環境に配慮した水道事業運営	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー型機器の導入 低騒音・低振動型建設機械の活用 再生資源の活用 建設廃棄物の適正処理 	2・概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー型機器の導入 久下浄水場のろ過設備と配水設備の高効率機器への更新（ろ過設機のダウンサイジングと配水ポンプの全台インバータ化が完了） 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した水道事業運営を引き続き実施する。
		【概要】 <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー型機器の導入 太陽光発電の導入 低騒音、低振動型の建設機械の活用 再生資源の活用 建設廃棄物の適正処理 低燃費自動車の導入 建設副産物のリサイクル促進 	<ul style="list-style-type: none"> 建設副産物のリサイクル促進 		【評価の理由】 <ul style="list-style-type: none"> 久下浄水場の設備更新により、省エネルギー型機器を導入できた。 	

加須市水道ビジョン進行管理調書（実施状況報告書）

基本理念 3 未来へ引き継ぐ水道（持続）

方策の柱 3 環境に配慮した取り組み

実現方策 ②水資源の有効利用

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名	事業の目標 事業の概要	(決算) 年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	有収率：(年間有収水量/年間配水量) × 100 %						
20	有収率向上対策 事業【再掲】	【目標】有収率の向上により、貴重な資源である「水」の有効利用を図る。 (目標値) 有収率を令和4年度までに90%にする。 【概要】石綿セメント管更新事業（再掲）、水圧不足対策事業（再掲）及び有収率向上対策事業を計画的に実施し、有収率の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 石綿セメント管更新事業（再掲） 水圧不足対策事業（再掲） 	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	有収率：(年間有収水量/年間配水量) × 100 %						<ul style="list-style-type: none"> 今後も老朽管の更新といった基礎的対策と並行して、地域の実情を鑑みながら、個別音調査による漏水箇所の特特定、速やかな修繕対応といった対処法的対策の実施により、年1%の有収率の改善を目標に対策を進めていく。
					年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (決算)	3年度 (当該年)	4年度	
					目標	90.2	85.94	86.94	87.94	88.94	90.00	
					実績	84.94	85.37	84.63	85.23			
					【評価の理由】 ・漏水多発地区である花崎北地区の配水管布設替工事や老朽化した石綿セメント管更新工事を継続して実施し有収率の向上を図った結果、前年度比0.6%増となった。							

○ 埼玉県内の水道料金一覧

順位	事業体名	家庭用20m ³ /月(口径13mm) の使用料金
1	秩父広域市町村圏組合	3,674
2	越生町	3,465
3	さいたま市	3,289
4	桶川北本水道企業団	3,223
5	蓮田市	3,206
6	神川町	3,190
7	熊谷市	3,135
8	行田市	3,069
9	鴻巣市	3,058
10	宮代町	3,003
11	寄居町	2,986
12	久喜市	2,981
13	伊奈町	2,970
13	上尾市	2,970
15	ときがわ町	2,937
16	加須市	2,860
17	深谷市	2,838
18	越谷・松伏水道企業団	2,805
18	杉戸町	2,805
20	白岡市	2,783
21	春日部市	2,684
22	幸手市	2,640
23	八潮市	2,530
24	坂戸、鶴ヶ島水道企業団	2,508
25	小川町	2,486
26	蕨市	2,475
26	草加市	2,475
26	吉川市	2,475
29	入間市	2,420
29	羽生市	2,420
31	吉見町	2,365
32	滑川町	2,310
33	志木市	2,288
33	鳩山町	2,288
35	美里町	2,267
36	川口市	2,266
37	富士見市	2,255
37	狭山市	2,255
37	飯能市	2,255
40	日高市	2,200
41	三芳町	2,172
42	毛呂山町	2,167
43	川越市	2,145
43	三郷市	2,145
43	新座市	2,145
46	所沢市	2,134
47	上里町	2,101
48	朝霞市	2,035
49	川島町	1,966
50	ふじみ野市	1,933
51	東松山市	1,925
52	本庄市	1,903
53	嵐山町	1,897
54	和光市	1,830
55	戸田市	1,749
	県内平均	2,534